

枠超え授業、単位修得へ

「学校間連携」スタート

津山商、工、東の3高校

津山市内3高校(津山商業、津山工業、津山東)の生徒が、学校を枠を超えて授業を受

は私たちにとって大変有意義なこと。自覚と責任をもって一生懸命学ぶことを誓います」と宣誓した。

その後、科目担当教師の紹介、オリエンテーションが行われた。毎週金曜日の5、6時間目に1教科の連続授業が実施される。

学校間連携事業は、個性や能力を伸ばすねらいに平成8年から実施し、県下では津山市だけで行われている。

今年度の受講生は昨年に続き津山商の生徒のみ。

た。津山商の3年生66人が、同校の「ファイナシヤルプランナー」(30人)「経済を読む」(23人)「ネットワーク概論」(7人)、津山東の「基礎看護」(6人)を1年間受講する。

式には受講生と対象校の教諭ら約90人が出席。連携委員長の三宅雄二郎津山工高校長が「夢の実現に一歩でも近づけるよ



受講生を代表して宣誓する浅野さん